

看護学概論	1年・前期	1単位 30時間	教授 箕輪 千佳
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110471

1. 授業のねらい・概要

看護の本質や専門職としての看護とは何かを探求していくための基礎となる看護の概要について学習する。看護は人間・健康・環境をどのように捉えているか、時代を超えて大切にすべきことは何かについて考えると共に、看護の役割・機能について過去・現在の状況をふまえ、未来について展望する。

2. 学修の到達目標

1. 看護の歴史や理論から看護についての理解を深め、看護観について述べることができる。(D-1)
2. 看護の対象である人間の見方、捉え方の多様性について述べるができる。(D-2)
3. 健康の捉え方および国民の健康と生活像について述べるができる。(D-2)
4. 職業としての看護の成り立ちと養成制度の特徴・課題を理解し、職業としての看護について述べるができる。(D-2)
5. 医療倫理の基本原則を学び、看護実践における倫理的ジレンマについて多様な視点から述べることができる。(D-1)
6. 看護サービス提供の場と看護をめぐる制度・政策の概要について述べることができる。(D-3)
7. 医療安全と医療の質保証に関する概要について述べることができる。(D-2)
8. 広がる看護活動領域として、災害時における看護、看護の場における国際化の概要を述べることができる。(D-4)

3. 授業の進め方

講義と演習により進める。視聴覚教材や様々な資料を取り入れ、生きた授業になるよう努力する。また、グループワークや反転授業などのアクティブ・ラーニングを取り入れ、課題を見つけ解決に取り組む演習を行う。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業、反転授業、調査学習、グループワーク、リフレクション、レポートを用いる。

【ICT活用の実施の有無】

ICT活用の実施：Classroom等による学習課題の提示、メールによる質問等の受付等。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	オリエンテーション 看護とは 看護の変遷	講義	予習：テキスト序章，第1章Aを読む。 復習：授業資料を見直し復習する。 課題を記載する。	箕輪千佳
2	F・ナイチンゲール グループワーク	演習	予習：看護理論のテキスト「看護覚え書き」を読み、配布された課題に取り組む。	箕輪

			復習：グループワークでの様々な発言から再度自分の意見をまとめ「看護覚え書き」についてのレポートにする。	
3	看護の役割・機能とその拡大	講義	予習：テキスト第1章Bを読む。 復習：授業資料を見直し復習する。	箕輪
4	看護の対象の理解	講義	予習：テキスト第2章を読む。 復習：授業資料を見直し復習する。	箕輪
5	国民の健康状態と生活 グループワーク	講義 演習	予習：テキスト第3章を読む。課題として統計資料から国民の健康状態と生活を読み取り課題と解決方法を記載する。 復習：授業資料を見直し復習する。 グループワークから考えた結果をレポートに記載する。	箕輪
6	看護の提供者 専門職としての看護	講義	予習：テキスト第4章Aを読む。 復習：授業資料を見直し復習する。	箕輪
7	看護職の資格と養成制度	講義	予習：テキスト第4章B～Dを読む。 復習：授業資料を見直し復習する。	箕輪
8	医療をめぐる倫理の歴史的経緯	講義	予習：テキスト第5章A, Bを読む。 復習：授業資料を見直し復習する。	箕輪
9	看護実践における倫理問題への取り組み グループワーク	演習	予習：テキスト第5章Cを読む。 看護における倫理問題の例について調べ、解決方法を考える。看護協会の「看護職の倫理綱領」を精読する。 復習：授業資料を見直し復習する。 グループワークで討議した課題解決について、自分の意見をまとめる。	箕輪
10	看護サービスの場	講義	予習：テキスト第6章A, Bを読む。 復習：授業資料を見直し復習する。	箕輪
11	看護をめぐる制度と政策	講義	予習：テキスト第6章Cを読む。 復習：授業資料を見直し復習する。	箕輪
12	看護サービスの管理	講義	予習：テキスト第6章Dを読む。 復習：授業資料を見直し復習する。	箕輪
13	医療安全と医療の質の保証	講義	予習：テキスト第6章Eを読む。 復習：授業資料を見直し復習する。	箕輪
14	国際化と看護 予習で記載した課題について発表、討論	講義 演習	予習：テキスト第7章Aを読む。 ナーシングチャンネル「国際看護＞世界を視野に入れた看護の現場」を視聴し配布された用紙に記載する。 復習：授業資料を見直し復習する。 授業で討論した内容に自分の考えを加えてまとめる。	箕輪
15	災害時における看護	講義	予習：テキスト第7章Bを読む。	箕輪

	予習で記載した課題について発表, 討論	演習	最近起こった災害のニュースなどから被災者の健康課題, 看護の役割に関する部分を調べる。 復習: 授業資料を見直し復習する。 授業で討論した内容に自分の考えを加えてまとめる。	
--	---------------------	----	--	--

5. 成績評価の方法・基準

定期試験(受験資格は3分の2以上の出席した者)50%, 提出物30%, 授業への参加度20%により総合的に評価する。

評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。

尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法は事前に口頭と文書で提示する。

提出物の配点内訳, ①F.・ナイチンゲール著「看護覚え書き」についてのレポート(20%), ②統計資料から国民の健康状態と生活について読み取るレポート(20%), ③看護実践における倫理問題の解決に関するレポート(20%), ④世界を視野に入れた看護の現場についての課題(20%), ⑤被災者の健康課題と看護の役割(20%)とし, 課題の詳細・課題提出締切・提出場所は, 講義内で資料を提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト: 1) 茂野香おる他: 系統看護学講座 看護学概論(最新版) 医学書院.

2) フローレンス・ナイチンゲール著, 小玉香津子・尾田葉子訳: 看護覚え書き一本当の看護とそうでない看護(最新版), 日本看護協会出版会. 2019

7. 準備学習に必要な時間, 又はそれに準じる程度の具体的な内容

指定された範囲について最低90分の予習および授業内容の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

1年次の「看護体験実習」の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求めることがある。

試験の模範解答は, 試験後解説を行うもしくは掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり, 修得できない場合は進級不可となる。

11. 該当する本授業は, 以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして, 講義を行う。